

令和 7 年 5 月 1 日

福島県知事 様

郵便番号 〒 〇〇〇-〇〇〇〇

住 所 〇〇県〇〇市〇〇町〇〇番〇〇号
△△マンション〇〇〇号室

（法人にあつては、事業所の所在地）

氏 名 福島 太郎

（法人にあつては、名称及び代表者の職・氏名）

電話番号 〇〇-〇〇〇〇-〇〇〇〇

メールアドレス 〇〇〇〇〇@〇〇〇〇

担当者職・氏名

（法人の場合のみ）

ふくしまぐらし。×テレワーク支援補助金交付申請書

令和 7 年度 ふくしまぐらし。×テレワーク支援補助金 の交付を受けたいので、福島県補助金等の交付等に関する規則第4条第1項の規定により、下記のとおり申請します。

記

1 補助金交付申請額

32,000 円

2 交付申請事業

☐ ふくしま“ロング・テレワーク”体験コース【長期】

☒ ふくしま“ショート・テレワーク”体験コース【短期】

※該当するものにチェックしてください。

3 事業実施予定期間

令和 7 年 6 月 1 日 ～ 令和 7 年 6 月 6 日

記載例

雇用者申請用

テレワーク実施計画書

1 申請者情報	
(1) 氏名 (よみがな)	福島 太郎 (ふくしま たろう)
(2) 生年月日	(西暦) 1990 年 4 月 1 日 (35) 歳
(3) ふくしまファンクラブ会員番号 (申込中の方は申込日記載)	〇〇〇〇〇 ※申込中の場合⇒『〇月〇日申込済』と記載。
2 勤務先情報	
(1) 法人名	株式会社〇〇〇〇
(2) 住所	〇〇県〇〇市〇〇町〇〇番〇〇号 △△マンション〇〇〇号室
(3) 業種	IT業
(4) 所属 (部・課名等)	〇〇部〇〇課
(5) 職名	係長
(6) 雇用形態	正社員
3 通常の勤務場所	
本社	
4 滞在中のテレワーク実施場所 (施設名、住所等)	(施設名)
	①コワーキングスペース〇〇〇〇 ②〇〇〇〇コミュニティスペース
	(住所)
	①福島県〇〇市〇〇町〇〇番〇〇号 ②福島県〇〇町〇〇番〇〇号
5 滞在中のテレワーク中の主な業務	
A社とのオンラインでの商談及び資料作成 社内リモート会議及び通常業務 等	
6 滞在中の宿泊場所 (施設名、住所)	(施設名)
	①ゲストハウス〇〇〇〇 ②〇〇〇〇ホテル
	(住所)
	①福島県〇〇市〇〇町〇〇番〇〇号 ②福島県〇〇町〇〇番〇〇号

福島県知事 様

上記のとおり相違ないことを証明します。

証明日 (記入日) 令和 7 年 5 月 1 日

証明者 法人名・所属 株式会社〇〇〇〇

職・氏名 人事課長 福島 次郎

(担当者 所属 人事課 氏名 福島 三郎 電話 〇〇-〇〇〇〇-〇〇〇〇)

※証明者は、申請者の勤怠管理を行う者を原則とします。

※証明内容等の確認のため、県から勤務先に直接ご連絡させていただく場合がございます。

記載例

法人申請用

テレワーク実施計画書

1 勤務者情報	
(1) 氏名 (よみがな)	福島 太郎 (ふくしま たろう)
(2) 住所	〇〇県〇〇市〇〇町〇〇番〇〇号 △△マンション〇〇〇号室
(3) 生年月日	(西暦) 1990 年 4 月 1 日 (35) 歳
(4) メールアドレス	〇〇〇〇〇@〇〇〇〇
(5) ふくしまファンクラブ会員番号 (申込中の方は申込日記載)	〇〇〇〇〇 ※申込中の場合⇒『〇月〇日申込済』と記載。
(6) 所属 (部・課名等)	〇〇部〇〇課
(7) 職名	係長
(8) 雇用形態	正社員
(9) 通常の勤務場所	本社
2 滞在中のテレワーク実施場所 (施設名、住所等)	(施設名)
	①コワーキングスペース〇〇〇〇 ②〇〇〇〇コミュニティスペース
	(住所)
	①福島県〇〇市〇〇町〇〇番〇〇号 ②福島県〇〇町〇〇番〇〇号
3 滞在中のテレワーク中の主な業務	A社とのオンラインでの商談及び資料作成 社内リモート会議及び通常業務 等
4 滞在中の宿泊場所 (施設名、住所)	(施設名)
	①ゲストハウス〇〇〇〇 ②〇〇〇〇ホテル
	(住所)
	①福島県〇〇市〇〇町〇〇番〇〇号 ②福島県〇〇町〇〇番〇〇号

※本様式は体験者1名につき、1枚作成すること。

福島県知事 様

上記のとおり相違ないことを証明します。

証明日 (記入日) 令和 7 年 5 月 1 日

証明者 法人名・所属 株式会社〇〇〇〇

職・氏名 人事課長 福島 次郎

※証明者は、申請者の勤怠管理を行う者を原則とします。

※証明内容等の確認のため、県から勤務先に直接ご連絡させていただく場合がございます。

記載例

個人事業主等申請用

テレワーク実施計画書

1 申請者情報	
(1) 氏名 (よみがな)	福島 太郎 (ふくしま たろう)
(2) 生年月日	(西暦) 1990 年 4 月 1 日 (35) 歳
(3) ふくしまファンクラブ会員番号 (申込中の方は申込日記載)	〇〇〇〇〇 ※申込中の場合⇒『〇月〇日申込済』と記載。
2 団体名・屋号	テレワーク体験ラボ
3 業種・事業内容	コンサルティング業
4 通常の勤務場所	自宅
5 滞在中のテレワーク実施場所 (施設名、住所等)	(施設名)
	①コワーキングスペース〇〇〇〇 ②〇〇〇〇コミュニティスペース
	(住所)
	①福島県〇〇市〇〇町〇〇番〇〇号 ②福島県〇〇町〇〇番〇〇号
6 滞在中のテレワーク中の主な業務	A社から受託しているウェブページ設計業務及び仕様確認等を目的としたオンラインミーティング 経営コンサルティングを受けているB社とのオンラインでの相談業務 等
7 滞在中の宿泊場所 (施設名、住所)	(施設名)
	①ゲストハウス〇〇〇〇 ②〇〇〇ホテル
	(住所)
	①福島県〇〇市〇〇町〇〇番〇〇号 ②福島県〇〇町〇〇番〇〇号

福島県知事 様

上記のとおり相違ないことを証明します。

誓約日 (記入日) 令和 7 年 5 月 1 日

氏名 福島 太郎

出発予定日を記入してください。
※申請書（第1号様式）に記載の事業実施予定期間
の始期と一致します。

テレワーク実施期間計画書

記載例

開始日

2025年6月2日

例：2025年8月2日

申請者（勤務者）名：

福島 太郎

1 実施期間予定表

月	日	曜日	福島県での宿泊の有無 (宿泊の場合は☑)	活動予定 (プルダウンから選択願います。)	テレワーク勤務時間	活動予定がその他の場合は 以下に詳しく記載願います。
6	2	月	☒	非勤務日		
6	3	火	☒	テレワークを実施	10:00~12:00,13:00~18:00	
6	4	水	☒	テレワークを実施	13:00~18:00	
6	5	木	☒	テレワークを実施	9:00~12:00,13:00~17:00	
6	6	金	☒	県内で勤務（テレワーク以外）		
6	7	土	☐	テレワークを実施	※期間中のテレワーク勤務時間の合計が、勤務日数×3時間以上となることが要件です。	
6	8	日	☐			
○福島県で宿泊を行う日は、□を☑に変更願います。 (クリックすると☑となります。) ※日中は業務の都合等により県外に滞在、夜は福島県に戻り宿泊する場合は☑となります。 ○最終日（福島から離れる日）は宿泊なしとなりますので、チェック不要です。						
6	13	金	☐	○活動予定の選択について ・テレワークを実施 ⇒県内でテレワーク体験を実施する場合に選択願います。 「テレワーク勤務時間」の欄に実際の勤務時間を記入願います。 ・非勤務日 ⇒休日等の非勤務日の場合に選択願います。 ・業務都合により県外へ ⇒業務都合（本社での会議や会社の取り決め等による出社など）により 県外へ行く場合に選択願います。 ・県内で勤務（テレワーク以外） ⇒県内で勤務するもののテレワーク以外の仕事をする場合に選択願います。 ・「その他」を選択した場合 ⇒右の自由記入欄に内容を記載願います。		
6	14	土	☐			
6	15	日	☐			
6	16	月	☐			
6	17	火	☐			
6	18	水	☐			
6	19	木	☐			
6	20	金	☐			
6	21	土	☐			
6	22	日	☐			
6	23	月	☐			
6	24	火	☐			
6	25	水	☐			
6	26	木	☐			
6	27	金	☐			
6	28	土	☐			
6	29	日		事業期間が31日を超える場合には、シート「①」では日数が足りないことから、シート「②」以降を使用願います。 ※シートが不足する場合はコピーして追加ください。		
6	30	月				
7	1	火				
7	2	水	☐			

※31日間の予定表となりますので、テレワーク体験期間が31日間を超える場合は、実施する期間に合わせて次のシートをお使いください。

2 宿泊日数及び活動予定の内訳

宿泊日数 計： 6泊
テレワークを実施 計： 4回
非勤務日 計： 1回
業務都合により県外へ 計： 0回
県内で勤務（テレワーク以外） 計： 1回

費用内訳書

(単位：円)

経費区分	内訳 (積算明細)	事業に要する 経費 (A)	(A)のうち補助 対象外の経費 (B)	補助対象経費 (A－B)
①宿泊費	ゲストハウス〇〇〇 5,000円×3泊＝15,000 円 〇〇〇ホテル 7,000円×2泊＝14,000 円	29,000	290	28,710
②交通費	東京駅～福島駅間 8,580円×2回＝17,160 円	17,160	170	16,990
③施設利用料	コワーキングスパー ス〇〇〇〇 1,000円×3日＝3,000円 〇〇〇〇コミュニティ スペース 1,000円×1日＝1,000円	4,000	0	4,000
④レンタカー代	〇〇〇レンタカー 7,500円×2日＝15,000 円	15,000	15	14,985
補助対象経費合計額 (C)				64,685
補助金交付申請額D (C×補助率【長期コース：3/4、短期コース：1/2】) (千円未満切り捨て) 上限：【長期コース】30万円 【短期コース】1万円／1泊				32,000

■確認欄 (チェック欄)

・補助対象経費の支払方法 (予定) について、以下のうちいずれか該当するものにチェックすること。

- ☒ ①クレジットカード、クーポン等による支払いが含まれる
☐ ②現金による支払いのみ

<①の場合>

クレジットカード、クーポン等の名称 (〇〇〇カード)

☒ 「(A)のうち補助対象外の経費 (B)」には、以下に該当する経費を記載すること

※補助対象外経費が複数含まれる場合、合計額のみでなく内訳を記載すること。
(例：〇〇カードポイント分：□円、クーポン分：△円など)
・ポイントカードの提示やクレジットカードの利用等に伴いポイントが付与される場合は、そのポイント付与額
・正規雇用者が申請者の場合は、対象法人から支給される旅費や通勤手当等
・対象法人が申請者の場合は、来県する勤務者自身が負担する経費
・金券やポイント、クーポン等で支払を行う経費 等

☒ 補助金交付申請額 (D) は、「補助対象経費合計額 (C) × 補助率 (長期：3/4、短期：1/2)」と各コースの上限額の少ない金額から千円未満を切り捨てた金額を記載すること

・テレワーク体験における同行者の有無及び本事業の利用について以下を確認すること

- ☒ ①同行者がいる (人数： 1 名)
☐ ②同行者がいない

<同行者がいる場合>

- ☒ ①同行者は本事業を利用する (予定含む) ⇒ (氏名： 福島 花子)
☐ ②同行者は本事業を利用しない※

※テレワーク体験に要した費用について同行者の人数により按分が必要となる場合があります。
例：滞在場所として、コテージ等の宿泊人数により費用が変わらない施設に同行者も含めて宿泊された場合は同行者の人数により按分する など

テレワーク体験に係る意向確認書（計画）【長期コース】

体験者氏名： 福島 太郎

1 テレワーク体験の目的及び意向

(1) 移住等の関心（該当するものは「○」、該当しないものは「-」を選択ください。）

☒ 福島県への移住を検討している☐ 福島県との二地域居住を検討している

※上記のいずれにも該当しない場合は、本事業の対象となりません。

(2) 福島県でテレワーク体験を実施する目的

福島県への移住を検討しており、テレワークにより普段と異なる場所でも通常通りの業務ができれば、移住の選択が可能となることから、今回の体験を通し、業務を行う上で支障が出ないか確認をするため。

2 テレワーク体験中に予定している地域交流等

※宿泊日数15泊ごとに1回以上、地域交流等を行うこと。

(1) 地域交流等の内容

該当するものは「○」、該当しないものは「-」を選択ください。

※選択項目が複数ある場合は複数選択ください。

☒ ① 移住・二地域居住を見据えた賃貸業者等への訪問相談及び物件内見等☒ ② ふくしまと関わるRoomに掲載のあるキーパーソンとの交流☒ ③ 移住等関連の情報収集（支援制度や、地域の特色、子どもの転校先等）を目的した行政機関（市町村や各地方振興局等）の訪問☐ ④ 移住体験やふくしまでの暮らしに関する意見交換等を目的とした地域おこし協力隊との交流☐ ⑤ 福島県内の地域団体や企業、地域事業者等との交流及び情報交換等☐ ⑥ 行政機関が企画する地域体験を含むお試し移住体験やワーケーションツアー等への参加☐ ⑦ テレワーク施設等が実施する地域イベント等への参加による地域住民との交流☐ ⑧ その他（事業趣旨に合致するものに限る。）

(2) 上記（1）の交流内容について

※複数ある場合はすべて記載ください。

ア 地域交流等実施日

①6月2日（月）14時
②6月18日（水）13時
③7月10日（木）午前中

イ 地域交流等場所

①〇〇市役所
②コワーキングスペース〇〇〇〇
③〇〇不動産 〇〇店

ウ 地域交流等の相手方

①〇〇市役所〇〇課〇〇氏
②「ふくしまと関わるRoom」に掲載のキーパーソンの〇〇氏
③〇〇不動産 〇〇店 〇〇氏

エ 地域交流等の目的及び具体的な交流内容

①〇〇市が実施する移住支援や子育て支援の制度を伺うとともに、地域の気候や文化など具体的な情報収集を行うことで、自身が想像している移住先とのギャップがないか確認するため。
②都内から福島県へ移住した〇〇氏とお会いし、〇〇氏が移住するに至った経緯や実際に移住してみて感じたメリット・デメリットをお伺いすることで、自身が移住した場合の具体的な生活イメージをつかみたいため。
③地方では車の運転ができないと生活が不便な印象をもっているが、車の運転ができないので、車がなくても不便なく生活できるエリアがあるか、地元の不動産屋を訪れ話を伺いたいため。

テレワーク体験に係る意向確認書（計画）【短期コース】

体験者氏名： 福島 太郎

1 テレワーク体験の目的及び意向

(1) 移住等の関心（該当するものは「○」、該当しないものは「-」を選択ください。）

- ☒ 福島県への移住を検討している
☐ 福島県との二地域居住を検討している
☐ 福島県との継続的な関わりを希望している

※上記のいずれにも該当しない場合は、本事業の対象となりません。

(2) 福島県でテレワーク体験を実施する目的

福島県への移住を検討しており、テレワークにより普段と異なる場所でも通常通りの業務ができれば、移住の選択が可能となることから、今回の体験を通し、業務を行う上で支障が出ないか確認をするため。

2 テレワーク体験中に予定している地域交流等

※5泊6日までの計画は1回以上、6泊7日以上計画は2回以上、地域交流等を行うこと。

(1) 地域交流等の内容

該当するものは「○」、該当しないものは「-」を選択ください。

※選択項目が複数ある場合は複数選択ください。

- ☒ ① 移住・二地域居住を見据えた賃貸業者等への訪問相談及び物件内見等
☒ ② ふくしまと関わるRoomに掲載のあるキーパーソンとの交流
☒ ③ 移住等関連の情報収集（支援制度や、地域の特色、子どもの転校先等）を目的とした行政機関（市町村や各地方振興局等）の訪問
☐ ④ 移住体験やふくしまでの暮らしに関する意見交換等を目的とした地域おこし協力隊との交流
☐ ⑤ 福島県内の地域団体や企業、地域事業者等との交流及び情報交換等
☐ ⑥ 行政機関が企画する地域体験を含むお試し移住体験やワーケーションツアー等への参加
☐ ⑦ テレワーク施設等が実施する地域イベント等への参加による地域住民との交流
☐ ⑧ その他（事業趣旨に合致するものに限る。）

(2) 上記(1)の交流内容について

※複数ある場合はすべて記載ください。

ア 地域交流等実施日

- ①6月2日（月）14時
 ②6月3日（火）13時
 ③6月5日（木）午前中

イ 地域交流等場所

- ①〇〇市役所
 ②コワーキングスペース〇〇〇〇
 ③〇〇不動産 〇〇店

ウ 地域交流等の相手方

- ①〇〇市役所〇〇課〇〇氏
 ②「ふくしまと関わるRoom」に掲載のキーパーソンの〇〇氏
 ③〇〇不動産 〇〇店 〇〇氏

エ 地域交流等の目的及び具体的な交流内容

- ①〇〇市が実施する移住支援や子育て支援の制度を何うとともに、地域の気候や文化など具体的な情報収集を行うことで、自身が想像している移住先とのギャップがないか確認するため。
 ②都内から福島県へ移住した〇〇氏とお会いし、〇〇氏が移住するに至った経緯や実際に移住してみて感じたメリット・デメリットをお伺いすることで、自身が移住した場合の具体的な生活イメージをつかみたいため。
 ③地方では車の運転ができないと生活が不便な印象をもっているが、車の運転ができないので、車がなくても不便なく生活できるエリアがあるか、地元の不動産屋を訪れ話を伺いたため。

誓約書

福島県知事 様

〈福島県への訪問目的〉

- ☒ 本事業で申請する福島県への訪問は、テレワークを主目的としたもので、支社や事業所、関係する企業等への出張ではないことを確約します。

〈暴力団等排除〉

- ☒ 暴力団（暴力団員による不当な行為の防止等に関する法律（平成3年法律第77号）第2条に規定する行為、団体等）、暴力団関係企業、その他これらに準ずる者（暴力団員でなくなった日から5年を経過しない者）（以下これらを「暴力団員等」という。）に該当しないこと及び次の各号のいずれにも該当しないことを表明し、かつ、将来にわたっても該当しないことを確約します。

- (1) 暴力団員等が経営を支配していると認められる関係を有すること。
- (2) 暴力団員等が経営に実質的に関与していると認められる関係を有すること。
- (3) 自己、自社若しくは第三者の不正の利益を図る目的又は第三者に損害を加える目的をもってするなど、不当に暴力団員等を利用していると認められる関係を有すること。
- (4) 暴力団員等に対して資金等を提供し、又は便宜を供与するなどの関与をしていると認められる関係を有すること。
- (5) 役員又は経営に実質的に関与している者が暴力団員等と社会的に非難されるべき関係を有すること。

- ☒ 自ら又は第三者を利用して次の各号の一にでも該当する行為を行わないことを確約します

- (1) 暴力的な要求行為
- (2) 法的な責任を超えた不当な要求行為
- (3) 取引に関して、脅迫的な言動をし、又は暴力を用いる行為
- (4) 風説を流布し、偽計を用い又は威力を用いて福島県の信用を毀損し、又は福島県の業務を妨害する行為

- ☒ 暴力団員等若しくは上記のいずれかに該当する行為をし、又は上記の表明・確約に関して虚偽の申告をしたことが判明し、私との取引を継続することが不適切である場合には、私は福島県から請求があり次第、福島県に対する一切の債務の期限の利益を失い、直ちに債務を弁償します。

- ☒ 上記に関して不法行為があった場合は法的措置（民事・刑事）を講じられても構いません

- ☒ 貴職において必要と判断した場合に、私の個人情報警察に提供し、表明・確約事項を確認することについて同意します。

令和 7 年 5 月 1 日

住 所 〇〇県〇〇市〇〇町〇〇番〇〇号氏 名 福島 太郎